

平成24年度 第1回青森市民図書館協議会 会議概要

- 1 日 時 平成24年10月30日(火) 午後3時~午後5時
- 2 場 所 青森市民図書館8階会議室2
- 3 出席委員 澁谷眞美子、佐々木敦子、奥崎信人、大坂美保、三浦美佐子、小笠原秀樹、石郷岡智
- 4 欠席委員 大友栄子 野崎直久 平野美奈子
- 5 事務局出席職員 館長 田中聡子、主幹 竹谷圭司、主幹 村上泰子、主幹 鈴木謙一郎、
主幹 五十嵐紀子、主事 葛西美由紀
- 6 第1回図書館協議会
 - (1) 開会
 - (2) 事務局職員紹介
 - (3) 協議事項
青森市民図書館運営について
 - ・ 市民図書館の主な活動について
 - ・ ボランティアとの連携について
 - ・ 地域の読書活動の推進について
 - ・ 学校支援活動について
 - (4) その他
青森市公共サービス外部化制度について
 - (5) 閉 会
- 7 会議の概要(発言の要旨)

協議事項 青森市民図書館運営について事務局より説明

質疑応答

主な質疑応答は以下のとおり

(委 員)

夏休み・冬休みの開館時間延長について、どのように周知しているのか。

(事務局)

ホームページ、広報あおもり、1ヶ月前からアウガ1階へ掲示・各市民センターへポスターの掲示、市内の小、中、高等学校へチラシの配付を行なっている。

(委 員)

図書館窓口で民間事業者が提供するサービスと、職員が提供するサービスの水準についてどのように考えているのか。

(事務局)

提供すべきサービス水準には違いがあってはならないと考えている。

(委 員)

移動図書館の冬期代替サービスは浪岡で実施していないのか。

(事務局)

実施してない。

意見

主な意見は以下のとおり

- ・小学校では、風の運んだおはなし会、移動図書館のサービスなど、図書館から質の高いサービスを受けている。
- ・高校では開館時間の延長については図書館のチラシを利用しているが、電子ファイルなどがあれば各学校でプリントアウトして更に活用したい。
- ・電車通学の高校生は図書館の利用頻度が高いことから閉館時間は現在の時間を維持していただきたい。
- ・中学生への読書啓発のためのアプローチを期待している。

その他

(事務局)

中学生への読書啓発のためのアプローチについて、学校図書館のボランティアや保護者なども含めてアプローチしていきたい。

高校でのデータによるPR方法については、今後の情報提供に活用していく。

青森市公共サービス外部化制度について事務局より説明

質疑応答

主な質疑応答は以下のとおり

(委員)

外部化後の選書は事業者が実施するのか。

(事務局)

選書は市の職員が継続して実施していく。

(委員)

ボランティアとの関わりはどうなるのか。

(事務局)

ボランティアに関する業務は市が継続して実施していく。

意見

主な意見は以下のとおり

- ・図書館展示業務について、図書に関心を向けさせる工夫がされており、そういう発想の取り組みが加速されていくことを期待する。

- ・事業者、ボランティア、行政の三者の取り組みに配慮したマネジメントが必要。
- ・外部化により効率性が向上することで、職員が担当する業務の専門的な部分が深まり、市民と子供達へのサービスは向上する。
- ・仕組みを変えることとなるが、検証する仕組みができているのが良い。
- ・外部化することで業務の役割分担が明確となっており、市民センター・学校へのアプローチ、地域資料や啓発事業の充実など、プラスに向かう。
- ・今後は民間に委託することにより窓口等のサービス水準が高まることを期待する。

その他

(事務局)

司書資格者が専門的な分野の業務に集中して取り組むことで市民サービスの向上を計りたい。事業者、ボランティア、行政の多様な担い手による相乗効果をねらった運営を目指したい。

青森市公共サービス外部化制度の実施について、委員より了承をいただき質疑を終了